

「みんな、これどう思う!？」結果報告

<アンケート概要>

目的	創大生がSDGsや社会問題をどのように認識し、またそれに向けて行動しているかを把握する
調査実施主体	SUSA (JYPS主催のユース SDGsアンバサダー) 野中正輝、山本大貴、河野恵美子、本川聖奈
対象	全創大生 (院生、留学生、別科生含む)
調査期間	2020年6月10日~2020年6月26日まで
回答者数	208人
回答率	2%
質問内容	1 SDGsの認知度 2 社会問題解決への取り組みを行っているか 3 創大のSDGsに対する取り組みの認知度 4 クラブ団体のSDGsへの取り組みの認知度
回答者の属性	学年：1年生 (28人、13.5%)、2年生 (48人、23.1%)、3年生 (65人、31.3%)、4年生 (60人、28.8%)、5年生以上 (4人、1.9%)、院生 (1人、0.5%)、留学生 (2人、1%) 学部：経済学部 (38人、18.3%)、国際教養学部 (48人、23.1%)、教育学部 (27人、13.0%)、文学部 (26人、12.5%)、理工学部 (24人、11.5%)、法学部 (22人、10.6%)、経営学部 (17人、8.2%)、看護学部 (5人、2.4%)、院生 (1人、0.5%)

<結果の概要>

1 SDGs認知度

アンケート回答者の9割以上がSDGsを聞いたことがある。そのうちの6割以上が17のゴールを認知している。

「SDGsという言葉聞いたことがある」は32.2% (67人)、「SDGs17ゴールを知っている」は36.5% (76人)、「SDGs17ゴールとターゲットを知っている」は29.8% (62人)だった。「そもそもSDGsを知らない、聞いたこともない」は1.4% (3人)だった。

「あなたはSDGsという言葉を知っていますか？」

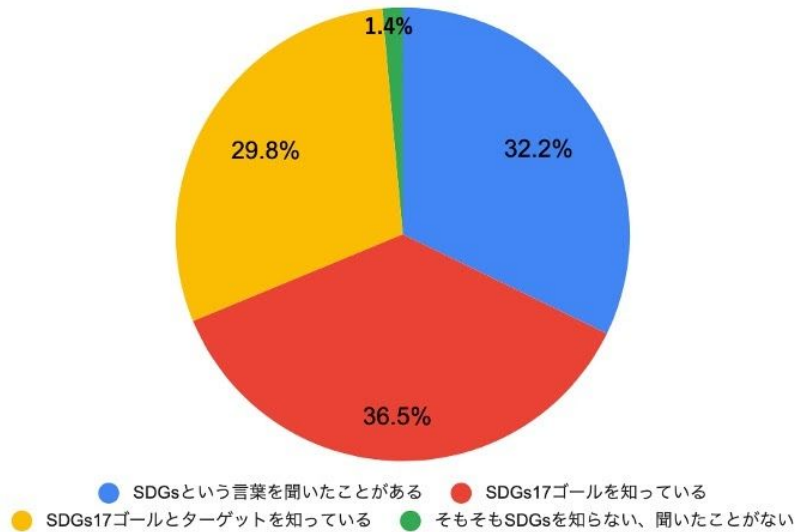


図1 SDGsの認知度 (n=208)

2 社会課題解決への貢献

回答者の53.8%は社会課題への貢献を認識して行動している。

「活動している」「活動しているがSDGsに当てはまるかわからない」が合わせて72.6%だった。活動していない生徒は27.4%で、そのうちの10.6%は「活動していないが、これから活動しようと思っている」と回答した

「現在、社会課題解決に貢献する活動に取り組んでいますか？」

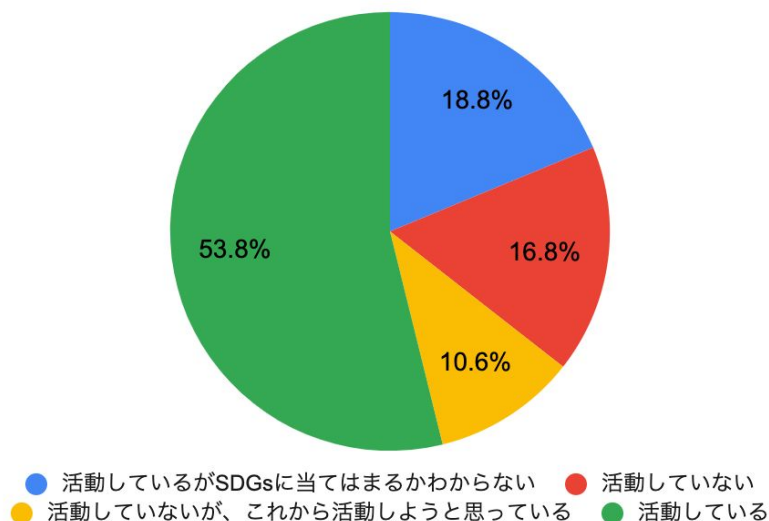


図2 社会課題解決への貢献

3 創大のSDGsに対する取り組みの認知度

回答者の半数以上が創大のSDGsへの取り組みを知らない。

創大のSDGsへの取り組みを「知っている」と回答した生徒は47.6%（99人）であったが、「知らない」と回答した生徒は52.4%（109人）だった。

「あなたは創大のSDGsへの取り組みを知っていますか」

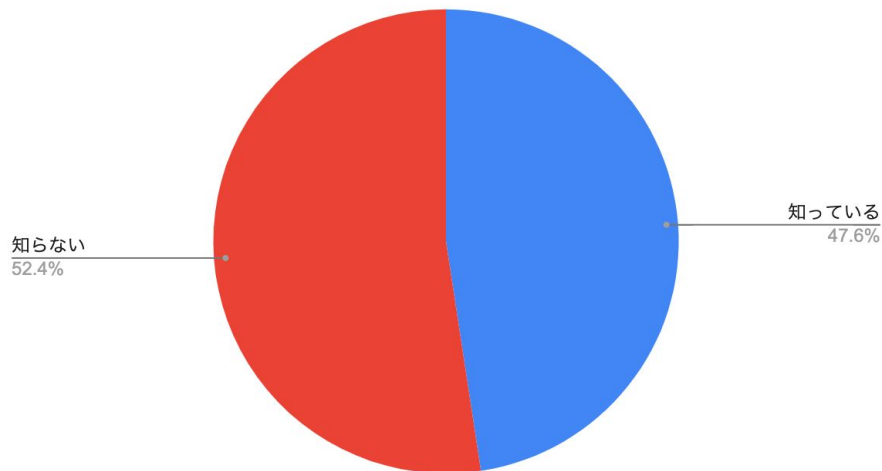


図3 創大のSDGsへの取り組みに対する認知度

4 クラブ団体のSDGsへの取り組み

7割の生徒が、SDGs達成に向けて取り組む創大のクラブ団体を認知している。

75.5%（157人）が「創大の部活・サークルで社会課題やSDGsに取り組んでいる団体があることを知っていますか？」という質問に対して「はい」と回答した。

「創大の部活・サークルで社会課題やSDGsに取り組んでいる団体があることを知っていますか？」

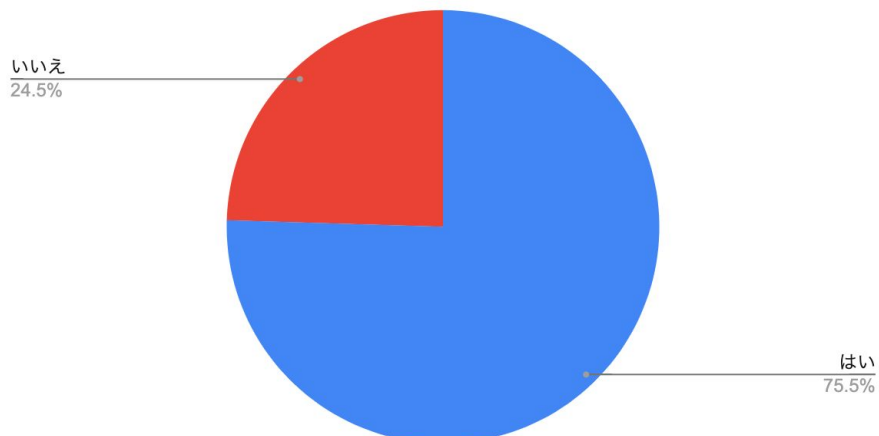


図4 SDGs達成に取り組むクラブ団体への認知度